

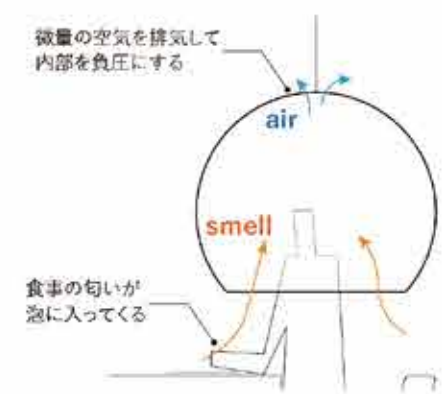
bubble mariage



0. 人と食べる幸せ

食は人類にとって最も大きな幸せの形の一つである。
 新型コロナウイルスの拡大により、外で人と会い、食事をすることが自由にできなくなってしまった。現在はソーシャルディスタンスを保ち、パーティションに区切られた中で食事をするようになってしまった。しかし、このパーティションは無機質で、どこか寂しさや距離を感じてしまう。
 そこで、パーティションの役割を果たしつつ、今までより楽しい食事体験をできる空間として、ガラスの泡を設計した。
 このガラスの泡により、私たちは五感を通してより食事を楽しみ、食事を通じた新しいコミュニケーションの形が生まれる。

1. 匂いを感じる



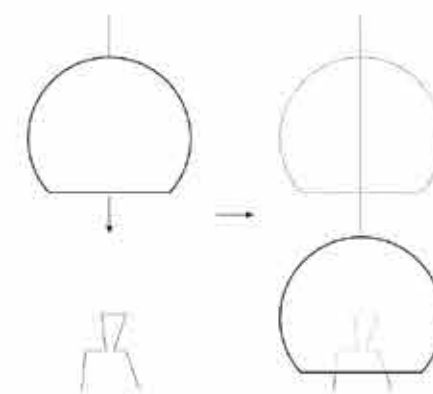
ガラスの泡の上部から微量の空気を排気し、内部を負圧にする。
 食事の匂いが泡に入ってくる。

2. 会話を楽しむ



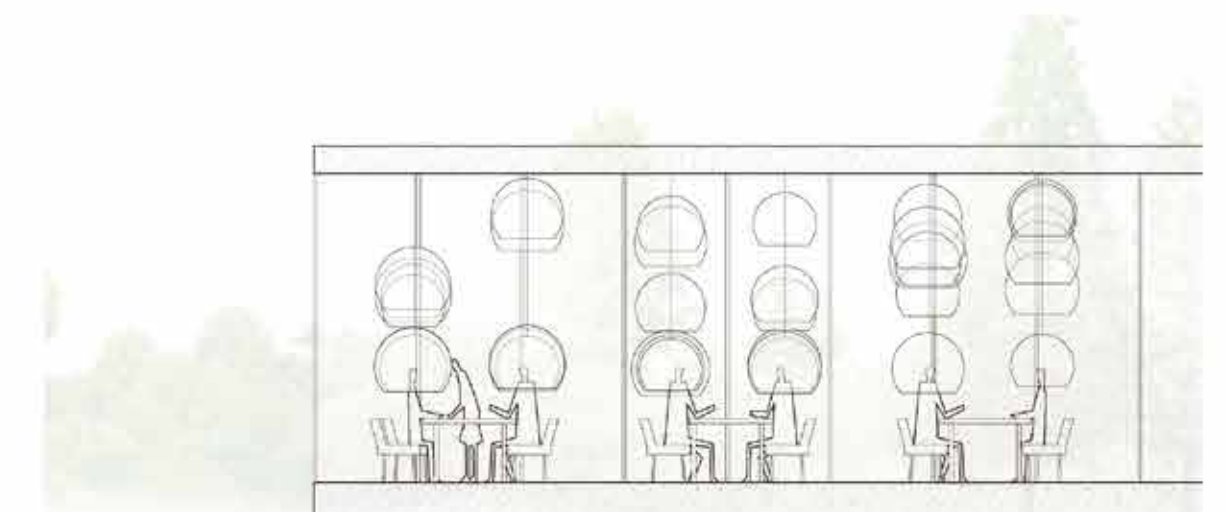
声を出すとガラスの泡が共振し、声の振動を相手に伝える。また、外部の騒音をノイズキャンセリングし、食事と会話に集中できる。

3. 泡がゆらめく



人の着席、離席に合わせてガラスの泡が昇降する。人が来る、去るたびに泡がふわふわと浮いたり沈んだりする。

4. 泡の浮く空間



section S=1:100